

環境経営レポート

2024年度
2024年4月～2025年3月



王子齋藤紙業株式会社船橋営業所

作成日：2025年5月24日
改定：2025年5月26日

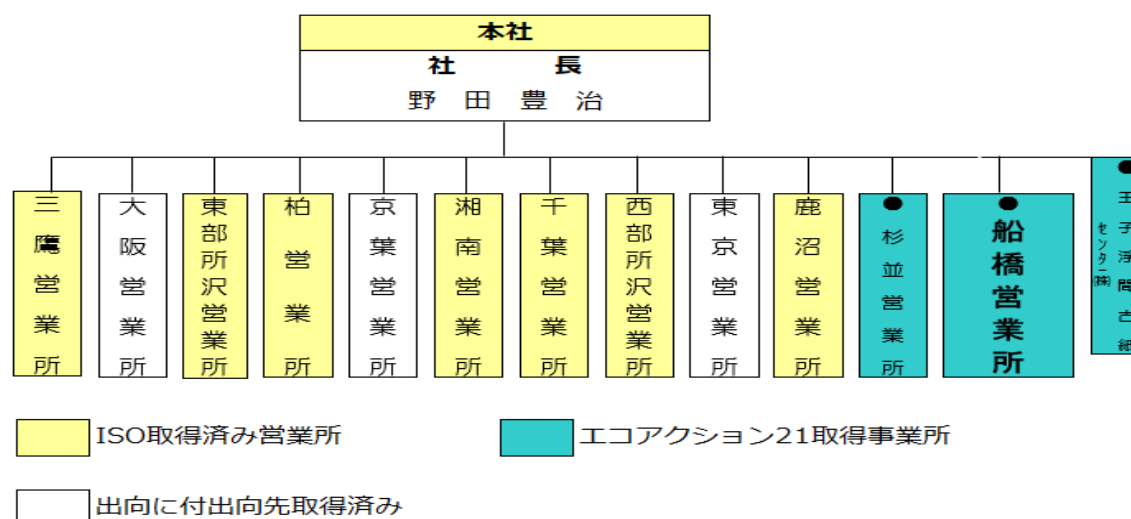
目次

会社概要	1～3
環境経営方針	4
中期環境経営目標と2024年度実績・評価	5
グラフ	6
環境活動計画の内容と取組結果の評価・次年度の取組	7
環境関連法規への違反・訴訟等の有無	8
代表者による全対評価と見直し	

1. 組織の概要

1. 事業所名 王子斎藤紙業株式会社 船橋営業所
2. 代表者氏名 所長 高橋 進也
3. 営業所所在地 千葉県船橋市小野田町1524-3
4. 環境管理責任者 高橋 進也
5. 連絡先 高橋 進也
TEL : 047-456-0550
FAX : 047-456-0551

6. 会社組織図



7. 事業の規模

資本金 : 13,500万円 (全社) (本社はISO14001取得)

敷地面積 : 1,660㎡

建築面積 : 820㎡

延床面積 : 896㎡

人数 : 6名

取扱量 : 4146t

売上高 : 11885万円

設備 : 梱包機 : 150HP 一基
台 貫 : 50 t 一基
フォークリフト : 4.5 t : 1車 2 t : 1車 (軽油)
ショベルローダー : 2.5 t : 1車 (軽油)
トラック : 4 t : 1車 3 t : 1車 (軽油)
パッカー車 : 4 t : 1車 (軽油) 3 t : 1車 (軽油)

処理工程 ①受け入れ⇒②選別⇒③圧縮梱包⇒④出荷

①受け入れ



②選別



③圧縮梱包



④出荷



※許可登録の内容 該当なし

産業廃棄物処理業者ではないので、上記以外の優良性評価制度における情報項目に関する情報はありません

8. 事業活動の内容

古紙収集・運搬・選別・梱包・販売

9. 社歴

2008年4月15日（操業開始）

10. 認証登録範囲

認証登録番号：0007078

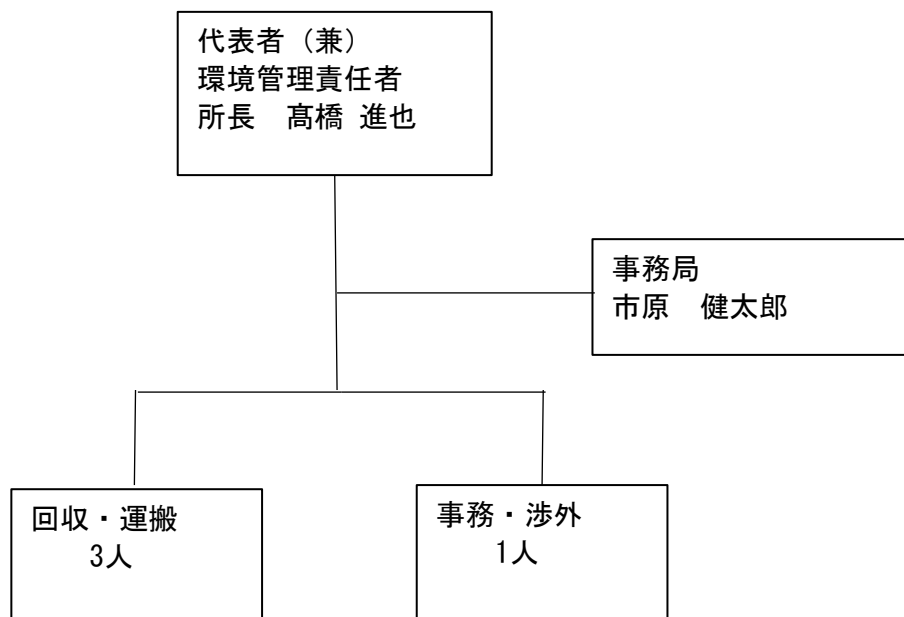
認証・登録日：2011年6月1日

認証登録事業者及び対象事業所：王子斎藤紙業株式会社 船橋営業所

所在地：千葉県船橋市小野田町1524-3

事業活動：古紙収集・運搬・選別・梱包・販売

2. 環境管理体制



	役割・責任及び権限
代表者	・ 環境管理に関する方針（環境経営方針）を定め、誓約する ・ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする ・ 必要十分な実施体勢を構築する ・ 環境経営方針は、全従業員に周知する ・ 環境経営全体の取組状況及びその効果を評価し 以下の項目を含む見直しを実施し、必要な指示を行う ①環境経営方針、②環境経営目標及び環境経営計画、③実施体制
環境管理責任者	・ 環境への負荷と取組の状況の把握及び評価 ・ 環境関連法規などの取りまとめ、並びに遵守状況の評価 ・ 環境経営目標及び缶きゅお経営計画の策定、並びに 達成状況の把握 ・ 問題がある場合の是正処置、予防措置の実施 ・ 教育、訓練の実施 ・ 環境コミュニケーションの実施 （内部、外部、環境経営レポート） ・ 環境上緊急事態への準備及び対応 ・ 緊急事態等の施行実施後及び発生後に、対応策の有効性を 検証し、必要に応じて改定する ・ 環境経営方針、環境経営目標を達成する為に必要に応じて 手順書を作成し運用する ・ 文書類の作成、管理
事務局	環境管理責任者を補佐してエコアクション21のシステムの活動を推進する。
従業員	エコアクション21の目標に積極的に取り組む。

3. 環境経営方針

当事業所は、営業所開設当初から広く地球的視点に立って環境と調和した企業活動をしてきました。今後も以下の行動指針に沿って真に豊かな社会の実現に貢献できるよう環境負荷の削減活動を継続的に行います。

〈行動指針〉

1. 私たちは環境保全に関する法規制、王子齋藤紙業株式会社が同意した業界などの行動規範を遵守します。
2. 私たちは企業活動の中で、二酸化炭素排出量の削減、廃棄物排出量削減、排水等の環境負荷の低減に努め地球環境の保全に貢献します。
3. 私たちは5 S（整理、整頓、清潔、清掃、躰）を活動の基本とし、事業の運営に努めます。
4. 私たちは収集古紙の分別精度を高め、古紙の品質向上を図ります。分別収集業務を通じ、循環型社会の形成に貢献することを目指します。
5. 私たちは地球環境の健全化が人類共通の課題であることを認識し、一人ひとりの環境に関する意識の向上に努め、環境経営の継続的改善を実施するとともにこの環境経営方針を全従業員に周知します。

制定日： 2010年6月21日

改定日： 2023年4月1日

王子齋藤齋藤紙業株式会社船橋営業所

所長 高橋 進也

4. 中期環境経営目標と2024年度実績・評価

環境目標	単位	基準値	年度目標			備考
		(2022年度)	2023年度	2024年度	2025年度	
			2023年4月 ～2024年3月	2024年4月 ～2025年3月	2025年4月 ～2026年3月	
1. 二酸化炭素排出量削減	t-CO ₂	59.9	対基準0.5%減 59.6	対基準1%減 59.3	対基準1.5%減 59.0	チェックリスト作成と記入
①電力消費量削減	kWh	52,127	対基準0.5%減 51,866	対基準1%減 51,606	対基準1.5%減 51,345	
②車両燃料量削減 軽油	ℓ	14,660	対基準0.5%減 14,587	対基準1%減 14,513	対基準1.5%減 14,440	
③車両燃料量削減 ガソリン	—	—	—	—	—	ガソリン車該当なし
2. 一般廃棄物排出量削減	kg	0	0	0	0	
3. 地下水排出量削減	m ³	370 2023年度実績 12/11ヶ月分	—	対基準0.5%減 368.2	対基準1%減 366.3	
4. 5Sの励行			外周の除草 近隣の清掃	外周の除草 近隣の清掃	外周の除草 近隣の清掃	
5. 古紙品質向上			禁忌品の除去	禁忌品の除去	禁忌品の除去	
6. グリーン購入			グリーン購入	グリーン購入	グリーン購入	

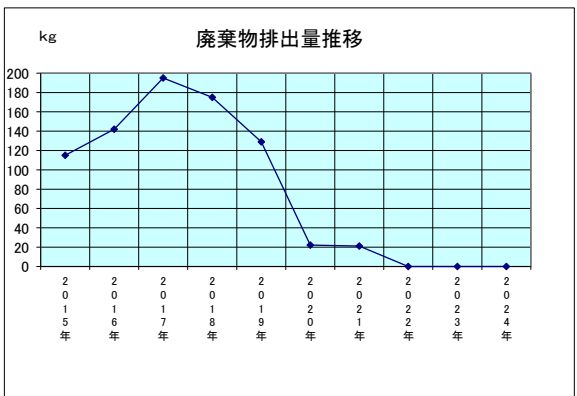
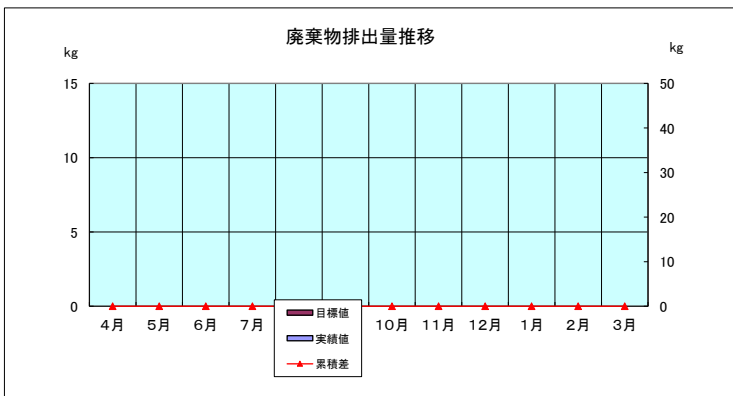
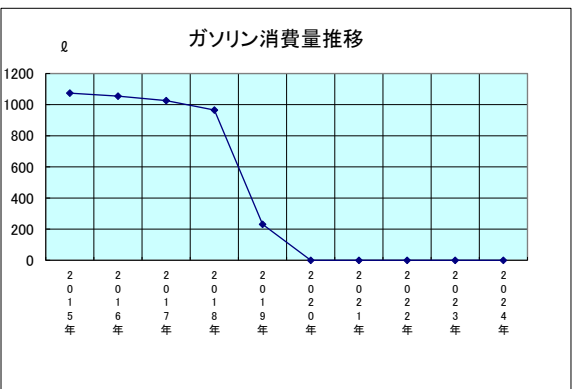
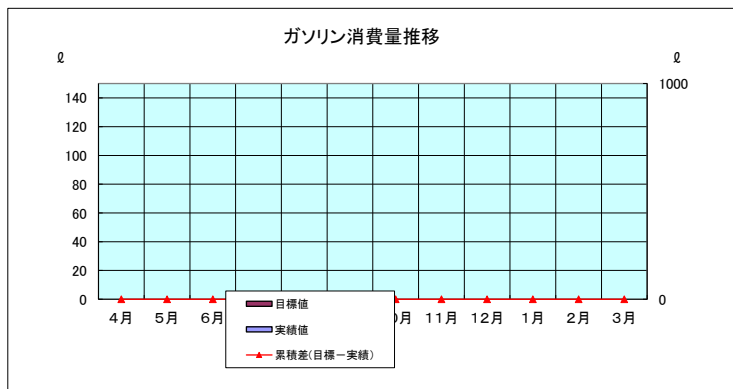
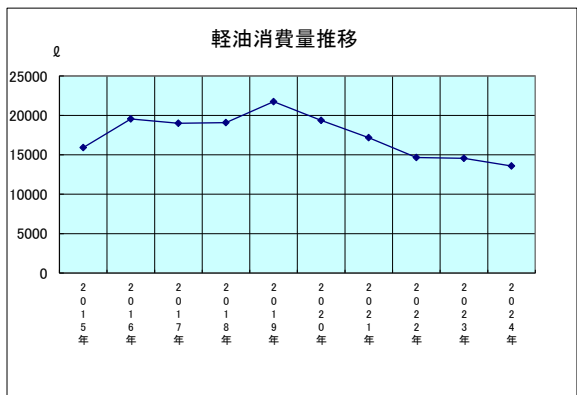
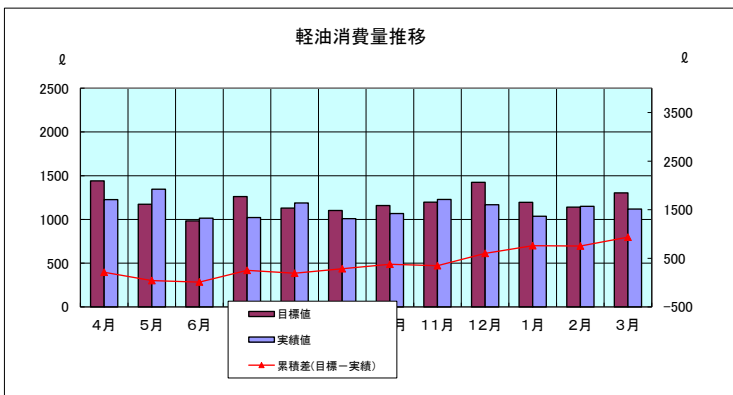
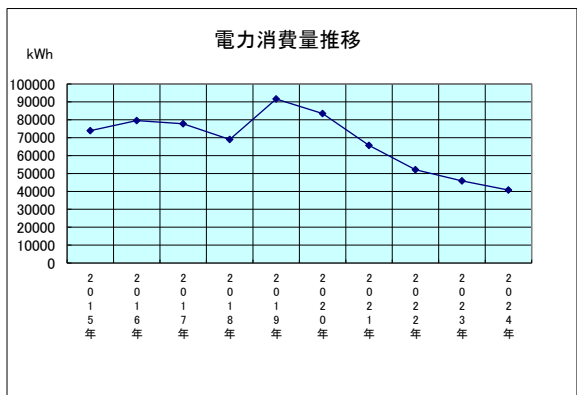
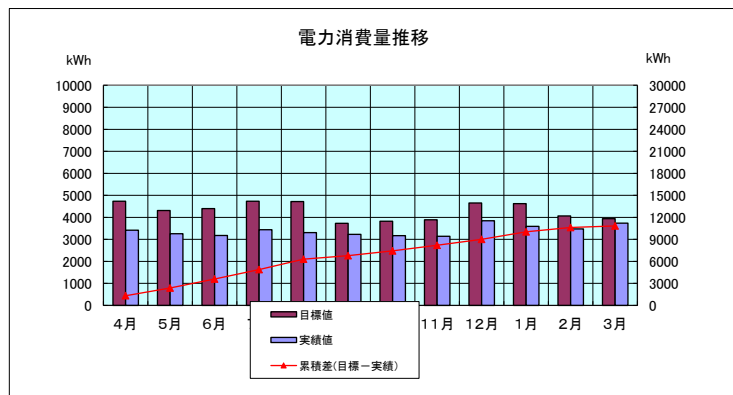
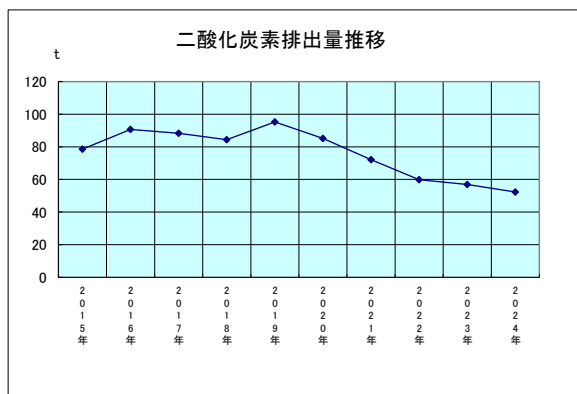
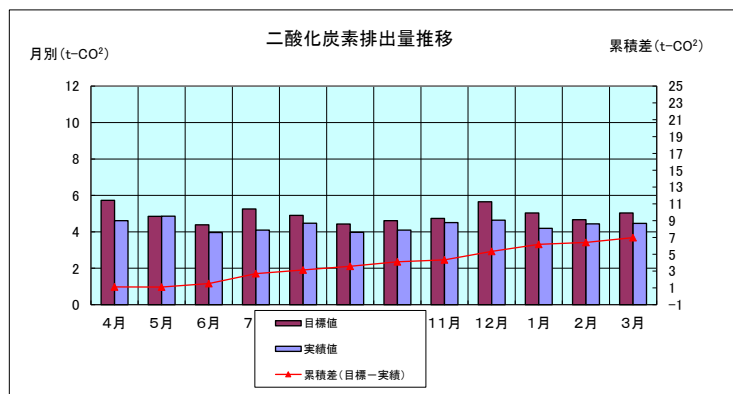
・日本テクノ株式会社、調整後排出係数（0.411kg-CO₂/kWh）2020年度

2024年度 4月～3月 環境活動実績

環境目標	単位	目標	実績	目標との差	削減率(%)	取組結果	評価
1. 二酸化炭素排出量削減	t-CO ₂	59.3	52.3	7.0	11.8	○	
①電力消費量削減	kWh	51,606	40,773	10,833	21.0	○	基準年度より処理量21.6%減 電気消費量21%減 引き続き、削減していく必要あり
②車両燃料消費量削減 軽油	ℓ	14,513	13,578	935	6.4	○	24年度に回収車両を1台減らし、ルート見直しも実施 23年度より4808km減り 基準年度より軽油1082L削減
③車両燃料消費量削減 ガソリン	ℓ	—	—	—	—	—	—
2. 一般廃棄物排出量削減	kg	—	—	—	—	—	お客へのゴミの返却、従業員の弁当ゴミ等を完全持ち帰りにした
3. 地下水使用量削減		368.2	359	11	3.0	○	井戸使用メーターのデータ取りにより節水の意識が高まり水のムダな使用は減った
4. 5Sの奨励		外周の除草 近隣の清掃	外周の除草 近隣の清掃	外周の除草 近隣の清掃		○	チェックリスト作成、記入によりほぼ達成できた
5. 古紙品質向上		禁忌品の除去	禁忌品の除去	毎日実施		○	チェックリスト作成、記入によりほぼ達成できた
6. グリーン購入		グリーン購入	コピー用紙 トイレトペーパー等 グリーン購入	—	—	○	積極的にエコ商品を購入した

・朝ミーティング及び月1回実施の全体ミーティングで上記削減情報を報告・共有することにより従業員の意識向上に努めています。

5. グラフ



6. 主要な環境活動計画の内容と取組の評価・次年度の取組

環境目標		主要な環境活動計画の内容	評価	次年度の取組
二酸化炭素排出量削減	(1) 電力消費量削減	①不用事の消灯 ②機器の主電源OFF ③空調温度の適正化 ④ベレーの最適運転	○ ○ ○ ○	①次年度も継続する ②次年度も継続する ③次年度も継続する ④次年度も継続する
	(2) 車両燃料消費量削減	①急加速急ブレーキ禁止 ②アイドリングストップ ③ふんわりアクセル ④エアコン使用適正化 ⑤タイヤ空気圧の適正化	○ ○ ○ ○ ○	①次年度も継続する ②次年度も継続する ③次年度も継続する ④次年度も継続する ⑤次年度も継続する
(3)	廃棄物排出量削減	①分別排出の励行 ②排出量計測	○ ○	①次年度も継続する ②次年度も継続する
(4)	水の消費量削減	①工場節水呼びかけ	○	①次年度も継続する
(5)	5Sの励行	①散乱紙の清掃 ②外周の除草 ③近隣の清掃	○ ○ ○	①次年度も継続する ②次年度も継続する ③次年度も継続する
(6)	古紙の品質向上	①バラ古紙の選別 ②プレス品外観チェック	○ ○	①次年度も継続する ②次年度も継続する
(7)	グリーン購入	①適合品の購入	○	①次年度も継続する

- ① 電力消費量削減は冷暖房の温度管理の徹底、プレス機の空回し禁止や作業終了時の電源OFFが定着してきました。
- ② 車両燃料消費量削減は車両のアイドリングストップ、車両整備、急加速急ブレーキの抑制などによるエコドライブが定着してきました。
- ③ 廃棄物排出量削減は従業員の弁当ゴミの各自持ち帰りやお客様への禁忌品の持ち込みへの指導・返却に取組みました。
- ④ 水の消費量削減は張り紙による節水の喚起や強風時以外の散水を控えること、洗車時の節水に取組みました。
- ⑤ 5Sの励行は毎ミーティング時に取り上げた結果、美化意識が高まり構内外共にきれいに保たれています。
- ⑥ 古紙の品質向上は古紙の持ち込み時、選別時、プレスの外観チェックの3段階で禁忌品を除去することにより品質向上につ努めています。
- ⑦ グリーン購入はエコ商品を意識して購入しました。（トイレットペーパー・コピー用紙等）

7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

当社の環境関連法規制一覧表に基づいて評価した結果、違反はありませんでした。

また外部からの訴訟等は過去3年間ありませんでした。

関係法規の名称	確認
労働安全衛生法	○
廃掃法	○
自動車Nox, PM法	○
消防法	○
危険物の規制に関する政令	○
道路交通安全法	○
道路運送車両法	○
オフロード法	○
道路運送車両法	○
千葉県環境確保条例	○
フロン排出抑制法	○
家電リサイクル法	○
小型家電リサイクル法	○
浄化槽法	○

8. 代表者による全体評価と見直し

1. 全体評価と見直し

環境経営システムは特に問題等が無い為、このまま現状維持で継続して行いたいと思います。

①電力使用量は基準年度の目標に対し、11354 k Wh削減 △27.8%

②燃料使用量は24年度に回収車両を1台減らしルート見直し実施 23年度より4808 k m減り
基準年度の目標に対し、1082L削減、△8.0%

③廃棄物排出量削減は分別により出たゴミのお客様への返却、従業員各自ゴミは持帰り無くなりました。

④処理量は基準年度年度に対し約21.6%減少の為、電力、燃料を継続的に削減していく必要あり。

⑤水の消費量削減は地下水のメーターでデータ取り、数字による注意喚起等で自主的節水を心掛けました。

また5Sの励行も定着してきているので引き続き従業員への啓発を続けて行います。

古紙の品質向上は3段階(受け入れ時・選別時・プレス外観チェック)による選別強化が

出来ているので継続して行います。

引き続き従業員に対し環境教育を行い環境意識を向上させ環境に配慮出来る結果を出せる様努めていきます。

2. 見直し

環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画・実施体制については共に良好ですので特に見直しは無し。